

神奈川県食品ロス削減推進計画に係る施策の実施状況【令和7年度】

推進施策	教育及び学習の振興・普及啓発等【計画第5章第1節】			
県民が、それぞれの立場で食品ロスの削減に自発的に取り組んでいくようにするため、その重要性についての理解と関心の増進等のための教育や普及啓発の施策を推進するとともに、消費者、事業者等が各自の役割を実践するために必要な情報を提供することにより、家庭系及び事業系の食品ロスの削減を推進していきます。				
1 食品ロスの削減に対する県民意識や社会的機運の醸成【改定前】	令和7年度実績	1 食品ロスの削減に対する県民意識や社会的機運の醸成【改定後】	令和8年度計画	担当課
<p>○ 毎年10月の食品ロス削減月間において、県の広報「県のたより」やカナフルTVにより食品ロス削減に関する県の取組を紹介するなど、県民に対する普及啓発を行います。</p>	<p>・脱炭素に関するメールマガジンに、食品ロス削減に関する県等の取組を紹介した。</p> <p>・子ども向け環境情報誌に県の脱炭素の取組を紹介し、子どもにもできるチャレンジのひとつとして「ごはんを残さず食べる」を紹介した。</p> <p>・九都県市で連携し、県ホームページ等で食品ロス削減の広報を実施した。</p> <p>・県広報媒体（ホームページ、テレビ、ラジオ）や、民間広報誌を用いて、食品ロス削減の広報を実施した。（通年・10月）</p> <p>・出前講座等を実施した。（8月、10月、2月）</p> <p>これまで作成したリーフレットを活用した啓発を実施した。</p> <p>パンフレットの増刷を行い、イベント等を通じて広報を行った。</p> <p>・かながわ畜産物フェアを開催した。（10月13日、川崎競馬場）</p> <p>・かながわ畜産の日フードフェス及びかながわトントン祭りを同時開催した。（11月2日、湘南台公園）</p> <p>・県ホームページ、川崎競馬場X及びYouTubeによる県産畜産物の情報発信を実施した。</p> <p>農業や農地の有する多面的機能に対する県民の理解を促進するため、保育園等で出前講座を実施した。</p> <p>かながわの食育月間(8月)における普及啓発ポスターを市町村や県内スーパー等、関係機関に配布した。</p>	<p>○ 毎年10月の食品ロス削減月間において、県の広報「県のたより」やカナフルTVにより食品ロス削減に関する県の取組を紹介するなど、県民に対する普及啓発を行います。</p>	<p>・脱炭素に関するメールマガジンに、食品ロス削減に関する県等の取組を紹介する。</p> <p>・子ども向け環境情報誌に県の脱炭素の取組を紹介し、子どもにもできるチャレンジのひとつとして「ごはんを残さず食べる」を紹介する。</p> <p>・九都県市で連携し、県ホームページ等で食品ロス削減の広報を実施する。</p> <p>・県広報媒体や、民間広報誌を用いて、食品ロス削減の広報を実施する。</p> <p>・出前講座等を実施する。</p> <p>これまで作成したリーフレットを活用した啓発を引き続き実施する。</p> <p>引き続き、地域で漁獲される水産物の地域内での消費を促進するため、パンフレット「かながわの魚」による広報を行う。</p> <p>・畜産の日イベント及びかながわトントンまつり等を開催する。（11月頃）</p> <p>・かながわの畜産物認知度向上のため、イベント開催や県ホームページ・SNSを活用し、情報を発信する。</p> <p>農業や農地の有する防災や自然環境の保全、食の大切さなど多面的機能の理解の促進に向けた農業体験等を開催する。</p> <p>かながわの食育月間（8月）に、県ホームページなどで食育の普及啓発を図る。</p>	<p>脱炭素戦略本部室</p> <p>資源循環推進課</p> <p>消費生活課</p> <p>水産課</p> <p>畜産課</p> <p>農地課</p> <p>健康増進課</p>
<p>○ 食品表示セミナー等を実施し、賞味期限と消費期限の違い等、期限表示の正しい理解を推進します。</p>	<p>・消費者を対象に、食品表示制度の概要と食品表示の見方を中心とした、食の安全・安心の確保に関する講座を開催した。</p> <p>①「食品表示から読み解く健康食品、サプリメントとの上手な付き合い方」（6月19日、25名参加）</p> <p>②「正しく学ぶ食品表示」（10月9日、19名参加）</p> <p>③「食品表示から読み解く食品添加物」（2月10日、27名参加）</p> <p>・賞味期限と消費期限の違いについて、分かり易く解説した動画を作成し、県ホームページに掲載した。</p>	<p>○ 食品表示セミナー等を実施し、賞味期限と消費期限の違い等、期限表示の正しい理解を推進します。</p>	<p>消費者を対象に、食品表示制度の概要と食品表示の見方を中心とした、食の安全・安心の確保に関する講座を開催する。（12月、1月、2月予定）</p>	<p>生活衛生課</p>
<p>○ 市町村と連携した情報発信などにより、食材は使い切れる分だけ購入し、食べきるといった食品ロスを削減する身近な取組が、地球温暖化の抑制や資源の無駄を減らすことにつながるという意識啓発を行い、県民の自発的な取組を推進します。</p>	<p>市町村主催の環境イベントでデコ活（食品ロスの削減等に関する内容を含む）の普及啓発を実施した。</p>	<p>○ 市町村と連携した情報発信などにより、食材は使い切れる分だけ購入し、食べきるといった食品ロスを削減する身近な取組が、地球温暖化の抑制や資源の無駄を減らすことにつながるという意識啓発を行い、県民の自発的な取組を推進します。</p>	<p>市町村主催の環境イベントでデコ活（食品ロスの削減等に関する内容を含む）の普及啓発を実施する。</p>	<p>脱炭素戦略本部室</p>
<p>○ 九都県市で連携し、食品ロスの削減をテーマとしたリーフレットや動画を活用したPRにより、県民の意識啓発を行います。</p>	<p>九都県市で作成したリーフレットを活用し、県民に対する食品ロス削減の広報を実施した。</p>	<p>○ 九都県市で連携し、食品ロスの削減をテーマとしたリーフレットや動画を活用したPRにより、県民の意識啓発を行います。</p>	<p>九都県市で作成したリーフレットを活用し、県民に対する食品ロス削減の広報を実施する。</p>	<p>資源循環推進課</p>
<p>○ 外食事業者等から排出される食品ロスを削減するため、宴会シーズンや季節商品の予約時期など、季節ごとの消費の機会を捉えた情報発信等を行うとともに、「外食時のおいしく「食べきり」ガイド」により、外食時の食べきり・持ち帰り（持ち帰り用容器の活用を含む。）等に係る普及啓発を行います。</p>	<p>・県ホームページにおいて、「3010運動」や「食べきり」の呼びかけを実施した。</p> <p>・「持ち帰り」に関する注意事項をまとめたチラシを作成し、飲食店における持ち帰りの普及啓発を実施した。</p>	<p>○ 外食事業者等から排出される食品ロスを削減するため、宴会シーズンや季節商品の予約時期など、季節ごとの消費の機会を捉えた情報発信等を行うとともに、「外食時のおいしく「食べきり」ガイド」や「食べ残り持ち帰り促進ガイドライン」により、外食時の食べきり・持ち帰り（持ち帰り用容器の活用を含む。）等に係る普及啓発を行います。</p>	<p>・県ホームページにおいて、「3010運動」や「食べきり」の呼びかけを実施する。</p> <p>・外食時に食べ残した際の持ち帰り容器を作成し、食べ残り持ち帰りの普及啓発を実施する。</p>	<p>資源循環推進課</p>
<p>○ 家庭における災害時用備蓄食料について、賞味期限切れで廃棄してしまう食品ロスを減らすため、「ローリングストック法」の普及啓発を行います。</p>	<p>県ホームページ等における普及啓発を実施した。</p> <p>県ホームページや課公式X等を通じた普及啓発を引き続き実施した。</p>	<p>○ 家庭における災害時用備蓄食料について、賞味期限切れで廃棄してしまう食品ロスを減らすため、「ローリングストック法※」の普及啓発を行います。</p>	<p>県ホームページ等における普及啓発を実施する。</p> <p>県ホームページや課公式X等を通じた普及啓発を引き続き実施する。</p>	<p>資源循環推進課</p> <p>消費生活課</p>

2 地域等において食品ロスの削減を担う人材の育成【改定前】	令和7年度実績	2 地域等において食品ロスの削減を担う人材の育成【改定後】	令和8年度計画	担当課
○ 環境保全活動を実践する人材を育成・支援するため、環境学習リーダー養成講座、環境スキルアップ講座等を開催します。	環境学習リーダー養成講座において、食品ロスの削減について県職員による講習をオンライン開催した。（講座全体の受講者数79名）	○ 環境保全活動を実践する人材を育成・支援するため、環境学習リーダー養成講座、環境スキルアップ講座等を開催します。	・環境学習リーダー養成講座・環境スキルアップ講座を開催する。 ・環境活動講座を開催する。	環境科学センター
○ 学校が効果的な授業を展開するための支援として、教職員の環境教育への理解を深めるための研修や環境問題に関する体験型出前授業を実施します。	「授業づくり研修講座（小学校・中学校・高等学校・特別支援学校）[全教科]～SDGsの理解を深める～」を実施した。	○ 学校が効果的な授業を展開するための支援として、教職員の環境教育への理解を深めるための研修を実施します。	「授業づくり研修講座（小学校・中学校・高等学校・特別支援学校）[全教科]～環境教育について理解を深める～」を実施する。	総合教育センター
消費者教育の担い手の育成	消費者教育教員研修を実施した。（消費者市民社会をテーマとして2講座を実施）	消費者教育の担い手の育成	消費者教育教員研修を実施する。（食ロス関連を含む内容で1講座を実施予定）	消費生活課
栄養教諭を対象とした教職経験に応じた基本研修や、学校栄養職員を対象とした指定研修の中で、食に関する指導や食育の推進に係る研修を実施します。	・新任栄養教諭研修、中堅栄養教諭等資質向上研修を実施した。 ・新採用学校栄養職員研修講座、学校栄養職員2年経験者研修講座、学校栄養職員5年経験者研修講座、学校栄養職員10年経験者研修講座、学校栄養職員15年経験者研修講座、学校栄養職員25年経験者研修講座を実施した。	栄養教諭を対象とした教職経験に応じた基本研修や、学校栄養職員を対象とした指定研修の中で、食に関する指導や食育の推進に係る研修を実施します。	・新採用栄養教諭研修、中堅栄養教諭等資質向上研修を実施する。 ・学校栄養職員2年経験者研修講座、学校栄養職員5年経験者研修講座、学校栄養職員10年経験者研修講座、学校栄養職員15年経験者研修講座、学校栄養職員25年経験者研修講座を実施する。	総合教育センター
自己研鑽のための研修講座として、食育の推進に係る研修を実施します。	・「学校における食育推進研修講座」を実施した。 ・「栄養教諭・学校栄養職員研修講座」を実施した。 ・「食に関する指導研修講座」を実施した（指定研修としても実施）。 ・「栄養教諭専門力向上研修講座」を実施した。	自己研鑽のための研修講座として、食育の推進に係る研修を実施します。	・「学校における食育推進研修講座」を実施する。 ・「栄養教諭・学校栄養職員研修講座」を実施する。 ・「食に関する指導研修講座」を実施する（指定研修としても実施）。 ・「栄養教諭専門力向上研修講座」を実施する。	総合教育センター
ふるさとの生活技術指導士の活動支援 ・農家の生活技術（食品加工など）を伝承している人の認定	・県ホームページにおいて「ふるさとの生活技術指導士制度」の普及啓発を実施した。 ・「ふるさとの生活技術指導士」を3名認定した。 ・ふるさとの生活技術指導士とかながわなでしこfarmers研修修了生の交流会を開催し、活動支援を行った。（10月）	・ふるさとの生活技術指導士の活動支援 ・農家の生活技術（食品加工など）を伝承している人の認定	ふるさとの生活技術指導士の活動を支援する。 ・農家の生活技術（食品加工など）を伝承している人の認定 ・県ホームページにおいて「ふるさとの生活技術指導士制度」の普及啓発を実施	農業振興課
3 学校の教科等を通じた食品ロス削減に関する理解と実践【改定前】	令和7年度実績	3 学校の教科等を通じた食品ロス削減に関する理解と実践【改定後】	令和8年度計画	担当課
○ 主に公立学校の教育において、学習指導要領に基づき、社会科、公民科、家庭科、技術・家庭科などの教科を中心に、消費者教育を実施します。	自立した社会人として、家族や家庭を大切に作る心や態度の育成、及び健全な食生活を実践できる人間を育成するため、高等学校学習指導要領に基づき、各教科・科目、特別活動及び総合的な探究の時間等で食に関する指導を行った。	○ 主に公立学校の教育において、学習指導要領に基づき、社会科、公民科、家庭科、技術・家庭科などの教科を中心に、消費者教育を実施します。	自立した社会人として、家族や家庭を大切に作る心や態度の育成、及び健全な食生活を実践できる人間を育成するため、高等学校学習指導要領に基づき、各教科・科目、特別活動及び総合的な探究の時間等で食に関する指導を行う。	高校教育課
	・健康・未病学習教材（第四版）のウェブページ掲載を開始した。 ・健康・未病学習教材（第五版）の作成に向けて時点修正等を実施した。 ・県立高校（中等教育学校も含む）及び県内私立高校に対し、教材の活用に係る周知を行った。		・健康・未病学習教材（第五版）の発行を行う。 ・学校及び学生の学習ニーズに沿った教材の工夫を行う。	健康増進課
○ 「PTA活動のためのハンドブック」や「家庭教育ハンドブックすこやか」等の啓発冊子を活用し、食品ロスの削減に関する理解を促進します。	食品ロスをテーマにした小学生向けのマンガを作成し、県ホームページで周知するとともに、県内小学校等へ配布した。			資源循環推進課
学校等における消費者教育の推進	県ホームページ等における普及啓発を実施した。	学校等における消費者教育の推進	県ホームページ等における普及啓発を引き続き実施する。	消費生活課
学校給食における県産農林水産物の活用促進	・学校給食における県産食材の活用を通して、県内農林水産物への理解を深めるとともに、食べものの成り立ちを理解し大切に作る心を育てることに繋げ、食育の推進を図るため、「かながわ学校給食地場産物利用促進運動」を実施した。 ・「かながわ学校給食地場産物利用促進運動」での取組内容を県ホームページに掲載した。	学校、地域等における食育の推進	・給食を実施する県内公立小中学校、義務教育学校及び特別支援学校における「かながわ学校給食地場産物利用促進運動」を実施する。 ・県内産農林水産物や季節の食材を活用した献立づくりへの支援を行う。	保健体育課
子どもへの食に関する指導等の推進	公立高等学校の授業等における食に関する指導を推進した。 私立学校へ、食育に関する情報提供等を実施した。 ・公立小・中学校の授業等における食に関する指導及び食品ロス削減に向けた指導の推進を行った。 ・他課と連携し、食に関する出前授業等の周知を実施した。	子どもへの食に関する指導等の推進	公立高等学校の授業等における食に関する指導の推進を図る。 私立学校への食育に関する情報提供等を実施する。 ・公立小・中学校の授業等における食に関する指導及び食品ロス削減に向けた指導を推進する。 ・他課と連携し、食に関する出前授業等を周知する。	高校教育課 私学振興課 子ども教育支援課
幼稚園・保育所等における食育支援	保育所の設置認可時に食育計画の提出を求めており、児童の食に対する意識醸成のために、園で実施する内容を確認した。	幼稚園・保育所等における食育支援	保育所等に対する食育計画を推進する。	次世代育成課

推進施策		食品関連事業者等の取組に対する支援【計画第5章第2節】		
食品ロス削減に向けた事業者の取組事例の共有・周知を図りながら、生産、製造、販売等の各段階において発生している事業系食品ロスを削減するための取組を推進していきます。				
1 商慣習見直し等の推進及び事業者の取組に対する消費者理解の促進【改定前】	令和7年度実績	1 商慣習見直し等の推進及び事業者の取組に対する消費者理解の促進【改定後】	令和8年度計画	担当課
○ 食べきりサイズの商品の製造・販売や、まだ食べられる食品をフードバンク団体へ提供する取組などを促進します。	・廃棄物自主管理事業説明会において、参加事業者に働きかけを実施した。（5月） ・県ホームページ等において、普及啓発を実施した。	○ 食べきりサイズの商品の製造・販売や、まだ食べられる食品をフードバンク団体へ提供する取組などを促進します。	・廃棄物自主管理事業説明会において、参加事業者に働きかけを実施する。 ・県ホームページ等における普及啓発を実施する。	資源循環推進課
○ 小盛り・小分けメニューの導入や、消費者の希望に沿った量で料理を提供する取組を促進します。	・県ホームページ等において、普及啓発を実施した。 ・飲食店における食品ロス削減に関する取組（小盛りメニュー等）の見える化を行うため、ステッカーを作成した。	○ 小盛り・小分けメニューの導入や、消費者の希望に沿った量で料理を提供する取組を促進します。	作成したステッカーを活用するなど、県ホームページ等において、普及啓発を実施する。	資源循環推進課
○ 食品ロス削減のための商慣習の見直し（賞味期限表示の大括り化、納品期限の緩和等）を推進する事業者の取組に対して、消費者理解が促進されるよう啓発を実施します。	事業者による商慣習見直しに対する消費者理解が促進されるよう、県ホームページ等において、普及啓発を実施した。	○ 食品ロス削減のための商慣習の見直し（賞味期限表示の大括り化、納品期限の緩和等）を推進する事業者の取組に対して、消費者理解が促進されるよう啓発を実施します。	事業者による商慣習見直しに対する消費者理解が促進されるよう、県ホームページ等において、普及啓発を実施する。	資源循環推進課
○ 消費者に対して、外食時の食べ残しを減らす、スーパー等で消費期限が近い商品から購入するといった、食品関連事業者から排出される食品ロスを削減するための意識啓発に取り組みます。	・「てまえどり」掲示物や県ホームページ等において、普及啓発を実施した。 ・県内コンビニと連携した「てまえどり」キャンペーンを実施した。（2月）	○ 消費者に対して、外食時の食べ残しを減らす、スーパー等で消費期限が近い商品から購入するといった、食品関連事業者から排出される食品ロスを削減するための意識啓発に取り組みます。	「てまえどり」掲示物や県ホームページ等において、普及啓発を実施する。	資源循環推進課
		○ 外食時の食品ロスの更なる削減を進めるため、国のガイドライン等を踏まえた食べ残しの持ち帰りについて、外食関係事業者と消費者に対して正しい情報を提供し、取組を促進します。	チラシ等を活用し、県ホームページ等において、普及啓発を実施する。	資源循環推進課
2 規格外や未利用の農林水産物の活用促進【改定前】	令和7年度実績	2 規格外や未利用の農林水産物の活用促進【改定後】	令和8年度計画	担当課
○ キャベツウニ、まぐろコンフィ、カマスボー等の未利用・低利用の農林水産物の活用を促進します。	マグロ血合肉等の未利用・低利用の農林水産物の開発・普及を行った。	○ キャベツウニ、マグロ血合肉等の未利用・低利用の農林水産物の活用を促進します。	引き続き、マグロ血合肉等の未利用・低利用の農林水産物の活用を促進する。	水産課
○ 食品関連事業者から排出される食品残さの家畜飼料としての活用を推進するため、食品関連事業者の相談窓口を設けるとともに、飼料の製造業者とのマッチングを推進します。	・エコフィードについて食品関連事業者等へ情報発信を行うとともに、エコフィードマッチングシステムを用いた食品関連事業者と畜産農家とのマッチングを推進した。 ・畜産農家からの相談を受け付け、必要な飼料分析を実施した。 ・エコフィードを活用した県内肥育牛用飼料を用いて飼養試験を実施し、環境影響評価を実施した。	○ 食品関連事業者から排出される食品残さの家畜飼料としての活用を推進するため、食品関連事業者の相談窓口を設けるとともに、飼料の製造業者とのマッチングを推進します。	・エコフィードについての情報を発信する。 ・畜産関係団体等と連携したエコフィードの利用推進を図る。 ・エコフィード相談窓口にて随時食品関連事業者及び畜産農家等からの相談を受け付ける。 ・未利用資源を活用した鶏用飼料を用いて飼養試験を実施し、鶏卵及び鶏肉への影響を検討する。 ・未利用資源を活用した県内肥育牛用飼料を用いて飼養試験を実施し、環境影響評価を実施する。	畜産課
○ 食品リサイクル再生利用事業計画認定制度を活用し、再生利用品の農業（畜産）利用を推進するなど、農業者との連携に関する情報を県ホームページ等で周知します。	再生利用事業計画認定制度を活用した再生利用品の農業（畜産）利用の推進、食品リサイクル関連の国の補助事業、食品ロスに関する情報を県ホームページ等で周知した。	○ 食品リサイクル再生利用事業計画認定制度を活用し、再生利用品の農業（畜産）利用を推進するなど、農業者との連携に関する情報を県ホームページ等で周知します。	食品リサイクル再生利用事業計画認定制度を活用し、再生利用品の農業（畜産）利用を推進するなど、農業者との連携に関する情報を県ホームページ等で周知する。	農政課

推進施策		実態調査等の推進【計画第5章第3節】		
【改定前】	令和7年度実績	【改定後】	令和8年度計画	担当課
○ 事業者から発生する食品ロスの発生量調査を継続して行うとともに、家庭系の食品ロス発生量の継続的な把握のため、市町村が行う家庭系食品ロスの発生量調査を支援します。また、これらの結果から食品ロスの発生状況の変化等を分析します。	県内の事業者及び家庭から発生する食品ロス量を推計した。	○ 事業者から発生する食品ロスの発生量調査を継続して行うとともに、家庭系の食品ロス発生量の継続的な把握のため、市町村が行う家庭系食品ロスの発生量調査を支援します。また、これらの結果から食品ロスの発生状況の変化等を分析します。	県内の事業者及び家庭から発生する食品ロス量を推計する。	資源循環推進課
○ 県民の食に関する実態を把握するため、県民ニーズ調査等により、食べ物を無駄にしないように気をつけている県民の割合について、継続的に調査を実施し、食品ロスの削減に対する県民意識等の向上に向けたさらなる取組を検討します。	県民ニーズ調査の実施により、食育推進計画の指標の進捗状況を把握した。	○ 県民の食に関する実態を把握するため、県民ニーズ調査等により、食べ物を無駄にしないように気をつけている県民の割合について、継続的に調査を実施し、食品ロスの削減に対する県民意識等の向上に向けたさらなる取組を検討します。	県民ニーズ調査を実施し、食育推進計画の指標の進捗状況を把握する。	健康増進課

推進施策	情報の収集及び提供【計画第5章第4節】			
【改定前】	令和7年度実績	【改定後】	令和8年度計画	担当課
○ 食品ロスの削減に資する先進的・効果的な取組やアイデア等を積極的に情報収集するとともに、県ホームページ等の各種媒体を通じて、広く提供・発信します。	県ホームページ等において、普及啓発を実施した。	○ 食品ロスの削減に資する先進的・効果的な取組やアイデア等を積極的に情報収集するとともに、県ホームページ等の各種媒体を通じて、広く提供・発信します。	県ホームページ等において、普及啓発を実施する。	資源循環推進課

推進施策	未利用食品を提供するための活動の支援等【計画第5章第5節】			
1 フードバンク活動の推進【改定前】	令和7年度実績	1 フードバンク活動の推進【改定後】	令和8年度計画	担当課
○ フードバンク活動への理解や協力を促進するための普及啓発を実施します。	県ホームページ等において、普及啓発を実施した。	○ フードバンク活動への理解や協力を促進するための普及啓発を実施します。	県ホームページ等において、普及啓発を実施する。	資源循環推進課
	・県ホームページにて継続して普及啓発を実施した。 ・パートナーミーティングにて、チラシやステッカーを用いて普及啓発を実施した。		・県ホームページ、チラシ等により普及啓発を実施する。 ・パートナーミーティングにてステッカーやチラシを配布する。	いのち・未来戦略本部室 SDGs推進G
	フードドライブを実施した。(10月)		フードドライブを実施する。(年1回程度)	湘南地域県政総合センター
○ フードバンク活動が県内全域で活発に行われるよう、市町村や関係団体と連携しながら、フードドライブの推進や食品関連事業者とフードバンク活動団体とのマッチング、提供される食品の情報共有等の関係者相互の連携を促進するための取組を含めたフードバンク活動の支援を行います。	・県ホームページ等において、普及啓発を実施した。 ・県庁フードドライブを実施した。(10月) ・デジタル技術を活用して食品関連事業者とフードバンク活動団体等とのマッチングを行う「ロス ZERO かながわ大作戦！」の取組を開始した。	○ フードバンク活動が県内全域で活発に行われるよう、市町村や関係団体と連携しながら、フードドライブに関するマニュアルの推進や、県庁舎におけるフードドライブを実施します。 デジタル技術の活用も含めた食品関連事業者とフードバンク活動団体等とのマッチング、冷凍食品を含めた提供される食品の情報共有等の関係者相互の連携を促進するための取組を含めたフードバンク活動の支援を行います。	・県ホームページ等において、普及啓発を実施する。 ・県庁フードドライブを実施する。(10月頃) ・「ロス ZERO かながわ大作戦！」の寄附企業拡大を図るなど、取組を推進する。	資源循環推進課
	・SDGsパートナーミーティングでは、フードバンク団体、食品寄贈者が登壇し、フードドライブの実施事例や連携事例を共有した。(3月) ・冷凍食品のロス品を寄付する企業が1者増加した。		・フードドライブの実施事例や連携事例を共有する。 ・スーパー等の食品量販店から子ども食堂等へ直接食品が提供される取組を推進する。 ・冷凍食品のロス品が子ども食堂等に寄贈される仕組みの拡大を図る。	いのち・未来戦略本部室 SDGs推進G
	・1年をとおして、東庁舎にて常設フードドライブを実施。食品ロス削減月間である10月にはいのち・未来戦略本部室、資源循環推進課と共に県庁フードドライブ活動を実施した。 ・子ども食堂等への支援として、企業等からの寄付の受け入れ調整を行い、子ども食堂へ届けるマッチングコーディネーターの人材発掘のため、交流会を実施した。		・県庁フードドライブ、常設フードドライブを実施する。 ・市町村、関係団体へ周知し、フードドライブ活動を促進する。 ・未利用食品を子ども食堂等に届けるため、寄付調整を行うマッチングコーディネーターに係る人材の確保・育成を支援する。	次世代育成課
2 災害時用備蓄食料の有効活用【改定前】	令和7年度実績	2 災害時用備蓄食料の有効活用【改定後】	令和8年度計画	担当課
○ 災害時用備蓄食料の更新にあたり、賞味期限が切れる一定期間前にフードバンク活動団体等へ提供するなどの有効活用を促進します。	フードバンクや子ども食堂へ期限間近の備蓄食料及び飲料水を寄附した。	○ 災害時用備蓄食料の更新にあたり、賞味期限が切れる一定期間前にフードバンク活動団体等へ提供するなどの有効活用を促進します。	災害時用備蓄食料の更新にあたり、賞味期限が切れる一定期間前にフードバンク活動団体等へ提供するなどの有効活用を促進する。	危機管理防災課